

## NEWS RELEASE

2020-09

2020.10.05

# 阪急電鉄神戸市内線高架橋が 「土木学会選奨土木遺産」に認定されました

阪急電鉄の「神戸市内線高架橋」（神戸本線：王子公園ー神戸三宮駅間）が、歴史的な価値のある土木構造物として、公益社団法人土木学会から「\*土木学会選奨土木遺産」に認定されましたので、お知らせいたします。

阪急神戸本線は、1920年7月16日に梅田ー上筒井間で営業を開始、その16年後の1936年4月1日に高架線により神戸三宮への乗り入れを行いました。今回、認定された「神戸市内線高架橋」は、神戸三宮乗り入れ時に建造された鉄筋コンクリート造りの高架橋で、日本初の鉄筋コンクリート造りの高架橋である東京一万世橋間高架橋を設計したこと等で知られる建築家の阿部美樹志氏が手掛けたものです。

この高架橋のうち、3か所のアーチ橋部分（原田<sup>きょうきょう</sup> 拱 橋・灘駅前拱橋・灘拱橋）は、幹線道路との交差点において優美な景観とすべく採用されたものですが、道路と斜交しているため、ねじれて見えるのが特徴で、<sup>せりし</sup> 迫石を模した装飾を施すなど、細部に行き届いた配慮を施しています。その他のラーメン高架橋についても、高架下の利用に配慮しつつ、隅角部に<sup>ぐうかく</sup> 円曲線を取り入れるなど、洗練された設計となっています。

また、スタイリッシュな中にクラシックなデザインを備えた同高架橋は、戦争や水害、阪神淡路大震災など幾多の試練を乗り越え、完成から80年以上にわたり、神戸の街の風景のひとつとして多くの人に親しまれています。

なお、阪急電鉄では、2000年度に認定された「阪急大宮駅と大宮・西院間の地下線路」に続き、本件が2例目となります。

※土木学会選奨土木遺産とは・・・

公益社団法人土木学会が、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、平成12年に認定制度を設立。推薦および一般公募により、年間20件程度を選出している。

詳細は次頁のとおりです。



原田拱橋

## 阪急電鉄神戸市内線高架橋について

1. 所在地 神戸市灘区～中央区（延長：2.426 km）

2. 形式・規模

- アーチ橋部分  
鉄筋コンクリート充腹アーチ橋（以下、東側より）
  - ① 原田拱橋：長さ＝65.5 m
  - ② 灘駅前拱橋：長さ＝25.0 m
  - ③ 灘拱橋：長さ＝49.07 m
- その他部分  
鉄筋コンクリートラーメン橋

3. 供用開始年月日 1936（昭和11）年4月1日



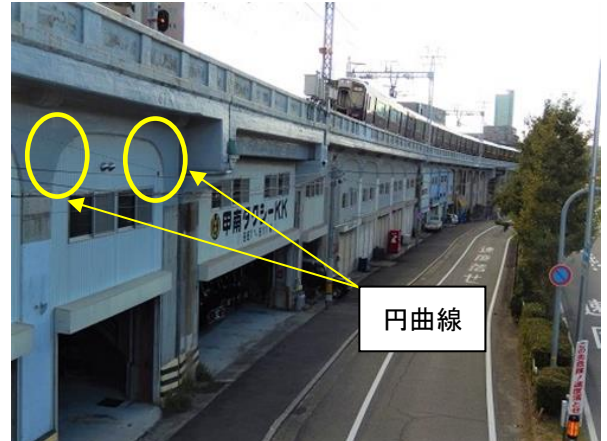
①原田拱橋



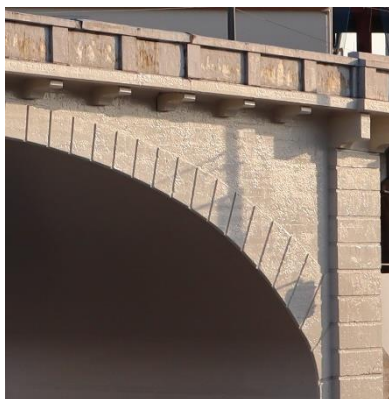
②灘駅前拱橋



③灘拱橋



隅角部に円曲線を取り入れた  
ラーメン高架橋



迫石を模した装飾

以上

【ニュースリリース配付先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、神戸市政記者クラブ

## ■阪急神戸線の路線拡張のあゆみ

ご参考

1920年 7月 16日	神戸本線…梅田－神戸(上筒井)、伊丹線…塚口－伊丹 開通
1921年 9月 2日	西宝線…西宮北口－宝塚 開通
1924年 10月 1日	甲陽線…夙川－甲陽園 開通
1926年 7月 5日	梅田－十三間が高架複々線化となり、宝塚線と分離し運転開始
1926年 12月 18日	西宝線…西宮北口－今津が開通し、西宝線を今津線に改称
1936年 4月 1日	神戸市内高架線が完成し、梅田－神戸(現 神戸三宮)が開通 西灘駅(現 王子公園)が開業 神戸(上筒井)を上筒井に駅名改称し、西灘－上筒井を上筒井線とする 【写真①】
1940年 5月 20日	上筒井線を廃止

※2020年7月16日 阪急神戸線は開通から100周年を迎えました



①完成した高架線を走る試運転列車(1936年4月1日営業開始)  
【後方は当時の神戸阪急ビル】

## ■阿部美樹志氏と阪急電鉄の土木・建築構造物

阿部美樹志氏(1883.5～1965.2)は、「神戸市内高架橋」以外にも「阪急電鉄梅田～十三間高架線」、「阪急ビルディング(阪急百貨店うめだ本店)」、「阪急会館(旧神戸阪急ビル東館)」、「西宮球場」など、阪急電鉄の主要な土木・建築構造物を数多く設計されています。